



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月10日

上場会社名 株式会社ファルコホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 4671 URL http://www.falco-hd.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤澤 寛治  
 問合せ先責任者 (役職名) 戦略業務室 (氏名) 大馬 久幸 TEL 075-257-8585  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	36,446	4.4	1,543	20.7	1,654	17.6	932	12.4
27年3月期第3四半期	34,907	△25.8	1,278	2.0	1,407	9.6	829	△68.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 883百万円 (△12.5%) 27年3月期第3四半期 1,009百万円 (△64.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	83.22	—
27年3月期第3四半期	73.27	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	30,835	16,732	54.3
27年3月期	30,192	16,365	54.2

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 16,732百万円 27年3月期 16,365百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	17.50	—	18.50	36.00
28年3月期	—	18.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	18.50	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	0.9	1,700	1.5	1,900	4.1	1,200	7.4	107.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	11,280,177株	27年3月期	12,280,177株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	135,824株	27年3月期	1,070,554株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	11,200,917株	27年3月期3Q	11,316,516株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の経済・金融緩和策を背景に、輸出関連企業を中心に収益改善が見られたものの、円安を背景とした原材料価格の高騰や人件費の上昇、実質所得の減少による消費マインドの低迷など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く受託臨床検査市場は、診療報酬の改定の影響に加え、同業社間の競争が激化しており、厳しい市場環境が続いております。また、調剤薬局市場は、調剤報酬の改定や薬価改定の影響に加え、消費税増税の影響を受け、厳しい状況となっております。

当社グループでは、このような経営環境のもと、グループ内の事業再編を進め、コスト構造の見直しを図るとともに、各事業において収益力の向上に取り組んでおります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は36,446百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益は1,543百万円(同20.7%増)、経常利益は1,654百万円(同17.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は932百万円(同12.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 臨床検査事業

臨床検査事業につきましては、営業拠点や検査施設の再配置等により事業構造の改革や業務改善を進めております。また、検査項目の拡販及び新規顧客の獲得に努めるとともに、検査原価の削減を図り、収益力の向上に取り組んでおります。

臨床検査事業の売上高は、臨床検査の受託検体数の伸び悩み等により21,628百万円(前年同期比0.0%増)となりました。また、営業利益は、試薬費及び減価償却費等の検査原価の減少により555百万円(同47.3%増)となりました。

#### ② 調剤薬局事業

調剤薬局事業につきましては、医療機関等との連携を図りながら地域特性に合わせた調剤薬局の展開を進めております。また、計画的な新規出店及び店舗運営の効率化を推進するとともに、OTC医薬品等の品揃えを充実させることにより、セルフメディケーションを意図した来局者の増加を図り、収益力の向上に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間において、3店舗を開局、1店舗を閉局したことにより、当四半期連結会計期間末における当社グループが運営する調剤薬局等店舗総数は113店舗(フランチャイズ店5店舗含む)となりました。

調剤薬局事業の売上高は、全体的な処方箋枚数の増加等により14,837百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益は1,176百万円(同17.0%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、主に投資有価証券が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ643百万円増加し、30,835百万円となりました。

負債は、主に仕入債務が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ277百万円増加し、14,103百万円となりました。

また、純資産は、自己株式の消却により自己株式、資本剰余金及び利益剰余金が減少しておりますが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末に比べ366百万円増加し、16,732百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ89百万円増加し、7,153百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果獲得した資金は1,448百万円(前年同四半期は584百万円)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,645百万円、減価償却費625百万円及び法人税等の支払額780百万円によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は860百万円(前年同四半期は1,124百万円の獲得)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出286百万円及び投資有価証券の取得による支出680百万円によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は498百万円(前年同四半期は1,951百万円)であります。これは主に、配当金の支払額410百万円及び自己株式の取得による支出103百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月12日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,086	7,176
受取手形及び売掛金	6,502	6,680
商品及び製品	1,182	1,440
仕掛品	68	38
原材料及び貯蔵品	384	437
その他	1,375	1,483
貸倒引当金	△31	△24
流動資産合計	16,567	17,231
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,854	8,926
減価償却累計額	△5,256	△5,419
建物及び構築物(純額)	3,597	3,506
土地	4,240	4,215
リース資産	821	520
減価償却累計額	△603	△358
リース資産(純額)	217	161
建設仮勘定	8	2
その他	7,590	7,457
減価償却累計額	△6,778	△6,785
その他(純額)	812	671
有形固定資産合計	8,876	8,556
無形固定資産		
のれん	140	89
その他	508	411
無形固定資産合計	648	500
投資その他の資産		
その他	4,137	4,560
貸倒引当金	△38	△13
投資その他の資産合計	4,098	4,547
固定資産合計	13,624	13,604
資産合計	30,192	30,835

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,587	6,159
短期借入金	470	1,460
未払法人税等	438	352
賞与引当金	664	225
その他	3,091	2,703
流動負債合計	10,252	10,901
固定負債		
長期借入金	170	—
役員退職慰労引当金	883	768
退職給付に係る負債	1,844	1,784
資産除去債務	144	144
その他	531	504
固定負債合計	3,574	3,202
負債合計	13,826	14,103
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,371	3,371
資本剰余金	3,439	3,307
利益剰余金	10,201	9,643
自己株式	△1,292	△187
株主資本合計	15,720	16,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	645	596
その他の包括利益累計額合計	645	596
純資産合計	16,365	16,732
負債純資産合計	30,192	30,835

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	34,907	36,446
売上原価	24,652	25,610
売上総利益	10,255	10,835
販売費及び一般管理費	8,976	9,291
営業利益	1,278	1,543
営業外収益		
受取配当金	68	45
貸倒引当金戻入額	14	4
債務免除益	—	18
その他	83	73
営業外収益合計	167	141
営業外費用		
支払利息	26	12
支払手数料	5	4
その他	6	14
営業外費用合計	38	30
経常利益	1,407	1,654
特別利益		
投資有価証券売却益	254	102
その他	33	—
特別利益合計	287	102
特別損失		
固定資産除却損	9	7
減損損失	245	88
事務所移転費用	28	16
その他	2	—
特別損失合計	286	112
税金等調整前四半期純利益	1,409	1,645
法人税、住民税及び事業税	537	668
法人税等調整額	42	44
法人税等合計	579	712
四半期純利益	829	932
親会社株主に帰属する四半期純利益	829	932



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	829	932
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	180	△48
その他の包括利益合計	180	△48
四半期包括利益	1,009	883
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,009	883
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,409	1,645
減価償却費	734	625
減損損失	245	88
のれん償却額	39	50
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16	△31
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	0	△60
賞与引当金の増減額(△は減少)	△418	△438
受取利息及び受取配当金	△69	△46
支払利息	26	12
投資有価証券売却損益(△は益)	△254	△102
売上債権の増減額(△は増加)	73	△185
たな卸資産の増減額(△は増加)	△91	△280
仕入債務の増減額(△は減少)	215	651
その他	291	269
小計	2,185	2,196
利息及び配当金の受取額	69	46
利息の支払額	△24	△13
法人税等の支払額	△1,645	△780
営業活動によるキャッシュ・フロー	584	1,448
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△453	△286
有形固定資産の売却による収入	139	—
無形固定資産の取得による支出	△80	△80
投資有価証券の取得による支出	△133	△680
投資有価証券の売却による収入	1,465	178
投資有価証券の償還による収入	59	—
保険積立金の解約による収入	176	11
その他	△48	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,124	△860
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200	990
長期借入金の返済による支出	△876	△901
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△94	△73
配当金の支払額	△397	△410
自己株式の取得による支出	△383	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,951	△498
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△242	89
現金及び現金同等物の期首残高	8,054	7,063
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,812	7,153

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年2月10日開催の取締役会決議に基づき、平成27年4月1日付で、自己株式1,000,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が132百万円、利益剰余金が1,074百万円、自己株式が1,206百万円それぞれ減少しております。

また、平成27年11月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式65,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が102百万円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が3,307百万円、利益剰余金が9,643百万円、自己株式が187百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,611	13,295	34,907	—	34,907
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	0	7	△7	—
計	21,618	13,296	34,914	△7	34,907
セグメント利益	376	1,005	1,382	△103	1,278

(注) 1. セグメント利益の調整額△103百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△944百万円及び内部取引の消去に伴う調整額840百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,610	14,836	36,446	—	36,446
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	0	18	△18	—
計	21,628	14,837	36,465	△18	36,446
セグメント利益	555	1,176	1,731	△187	1,543

(注) 1. セグメント利益の調整額△187百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,012百万円及び内部取引の消去に伴う調整額825百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。